

【参考】第2回教育行政評価委員会（令和6年3月実施）における意見

施策1 体力・学力を高める教育・保育の推進

● 運動の楽しさを感じる取組の充実	
意見	体力の向上を図るための予算を計上し、実施していることは有難い。

● 情報活用能力の育成	
意見	東海三県で多治見市と土岐市のみである「学校情報化先進地域」の認定を受けたことは素晴らしい。教育委員会、各学校がICTを推進するため努力している成果である。

● 全体	
意見	既に令和9年度の成果目標を達成している項目もあるため、次の目標を設定することを考えるとよい。

施策2 社会性と豊かな心を育む教育の推進

● 心の教育の充実	
意見	「子どもの権利セミナー」について、各校1名の参加となっているとのことであるが、1名でも多くの教職員に参加してもらいたい。

● キャリア教育の推進	
● 郷土愛を醸成する教育の推進	
意見	地域の一人として、企業人として子どもと繋がる機会が増えていることに感謝している。窯業に関わったり、農業に関わったりしながら、地域への愛着が進んでいると感じる。 多治見市の過去の人物にスポットを当てて、時代背景と共に学ぶと地域への愛着がさらに深まると思う。

● 全体	
意見	この報告書を見ると、体験する機会が増え、横断的な取組が進んでいると見受けられる。知識の下にある知恵が育まれていると感じる。

施策3 家庭、学校・園、地域の連携の推進

● 親育ち支援事業の充実	
意見	ママへの啓発活動に加えて、パパへの啓発活動にも力を入れると良い。

● 青少年健全育成事業の推進	
意見	青少年まちづくり市民会議の行事では、参加者よりボランティアが多い。行事の意味や地域の発展にどのように繋がるかをPRしていくことが参加者を増やすためには重要である。
意見	青少年まちづくり市民会議の後継者不足が話題となるが、青年会議所やロータリー、ライオンズなどには地域のために活動を行いたい方も多いと思う。青少年まちづくり市民会議について知らない方も多いと思うのでPRをするとよい。世代交代も必要である。

施策4 多様な課題に応じた支援の推進

● いじめ・不登校の未然防止と対応	
意見	北陵中学校で、校内教育支援室に「リラックススペース」を設け、居場所づくりとしての機能をつくったことを聞き、不登校対策の事業の質が変わってきたと感じる。
意見	「hyper-QU」の調査結果で、児童生徒の学級生活満足感が高いのは、子どもの権利を含む人権教育の実施等、施策1、施策2の事業が施策4に生きてきていると感じる。
意見	さわらび学級は、学校復帰のみを目的にするのではなく、子どもの自立を促すことを目的にするなど、事業を見直しながら進めていることは評価できる。

● 特別支援教育における支援体制の充実	
意見	学校看護師が確保できたこと、キキョウスタッフが増員していること、キキョウフレンドに7名の登録があることは素晴らしい。

● 学童保育（たじっこクラブ）の充実	
意見	学校休業日のたじっこクラブの開所時間が午前8時半から午前7時半に早くなり有難い。

施策5 学びを支える教育環境の充実

● 教職員の働き方改革の推進	
意見	教職員のストレスチェックで、40代の男性が「自覚的な身体的負担度」が悪い結果となっていることを受け、この年代が校務的な負担が大きいと分析し、課題として教育委員会が捉えていることは評価できる。
意見	成果目標で、月の超過勤務時間が80時間を超える教職員の数が急激に減少したことは素晴らしい。教員の働きがいということも重要であると説明があったように、働きがいがあるかどうかのアンケート結果もあると良い。教員の働きがいが良い教育につながる。
意見	教員にゆとりがあると子ども達にも安心を与え、相談しやすくなるため重要である。

総合的な意見

全体を通して	
意見	評価委員会の資料が見やすく、評価がしやすくなった。来年度は、「目標、取組」となっている資料を「計画、実行」とするとよいと思う。
意見	第3次教育基本計画となり施策が充実し、2時間では評価するのが難しくなっていると感じる。